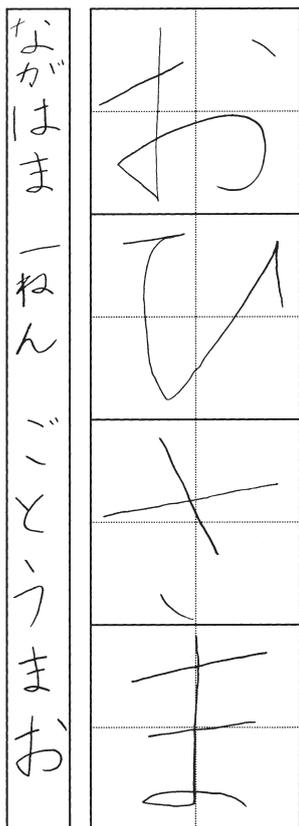


小 1 年

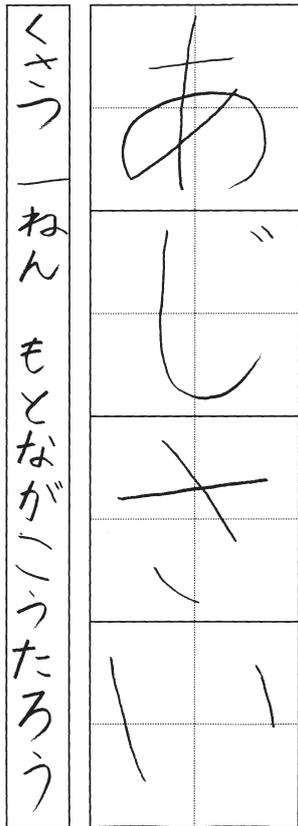


滋賀県書教育研究会会長賞

後藤 茉緒

大きくのびやかなうごきでかけました。一つ一つのかたちもすっきりとしていてうつくしいです。

小 1 年

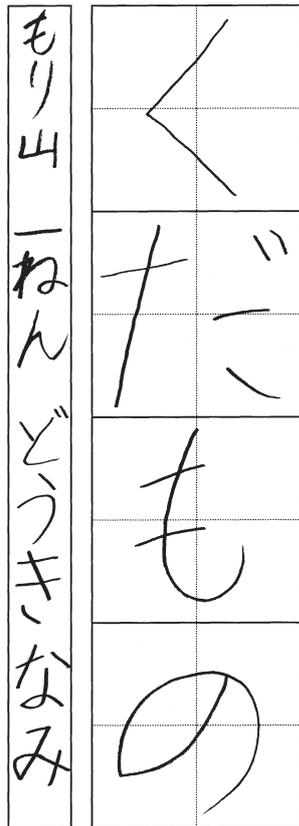


京都新聞賞

本永 航大朗

ゆったりとして、大きさをかんじます。あめにぬれてかがやいている花がおもいうかびます。

小 1 年

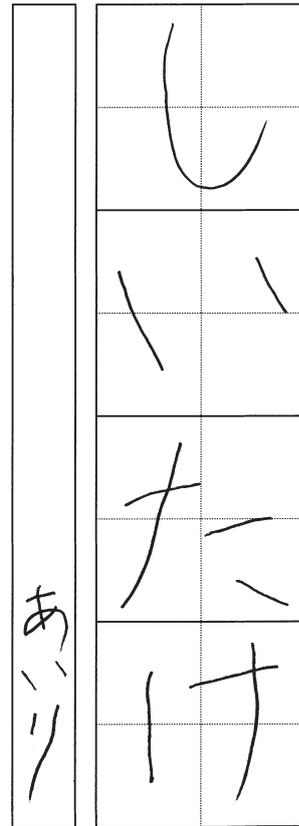


大津市教育委員会教育長賞

道木 成美

まっすぐな線とまがる線のきりかえがはっきりしています。もやものはらいもすばらしいです。

幼稚園



京都新聞賞

白井 愛莉

しっかりしたせんでどうとうかかけています。バランスよく、はらいのせんもすばらしいです。

小 2 年



京都新聞賞

鶴山 りあ

一字一字、一画一画とてもしっかりと書けています。りっぱです。

小 2 年

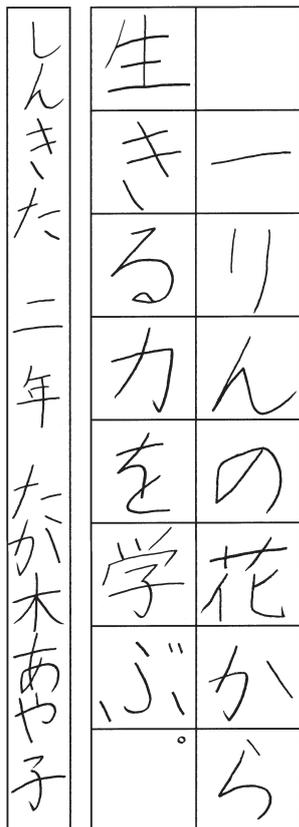


七十周年記念賞

大森 結芽

ゆったり^{ゆた}と伸々^{のび}と書いて、見ていると気持ちがやすらぐような気がします。

小 2 年

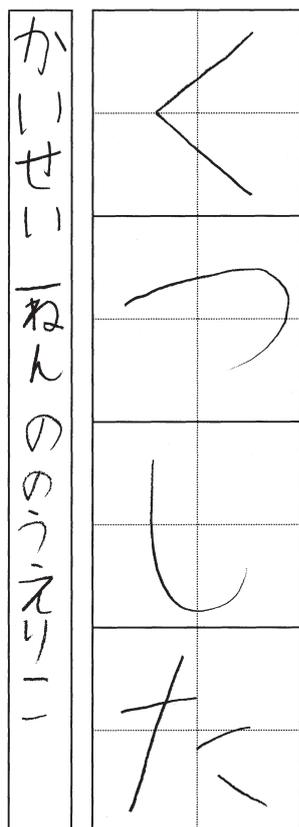


滋賀県教育委員会教育長賞

高木 彩子

直線的な線の引き方が、とても美しく一貫性がみごとに出せました。

小 1 年



滋賀県書道協会賞

野々上 莉心

かみの上を、手をうまくすばらせて、はらいのせんがうつくしいです。

小 2 年

マ南	ろ	
二年	の	雨
中川	大	上
ひいな	き	が
	な	り
	に	
	じ	七
		い

滋賀県書道協会賞

中川陽菜

途中で気がぬけたり、太くなってしまわずに、同じベースで書きました。

小 2 年

あざ井	せ	
二年		雨
川上	で	の
明音	ん	音
	で	
	ん	つ
	虫	の
		だ

滋賀県書道協会賞

川上明音

大きくゆったり一字一字が、しっかり書けていて、わくわくします。

小 2 年

せ田	の	
二年	つ	赤
竹	て	い
わ	出	じ
き	か	て
ま	け	ん
と	る	車
花		に

滋賀県書道教育研究会賞

竹脇 まど花

一本一本の線の引き方が、とても自信にみちあふれていて、堂々しています。

小 2 年

き生	ち	
川	ま	子
二年	き	ど
か	を	も
ま	た	の
くら	べ	日
い	た	に
い		

滋賀県書道教育研究会賞

鎌倉虹香

長い線と短い線の組み合わせが、とても美しく書けました。

小 3 年

あど	さ	
三年	ん	子
入	歩	犬
え	し	と
つ	ま	ー
ば	し	し
き	た	よ
		に

京都新聞賞

入江 椿

えんぴつをかるく持っていいねいに書き上げました。中心がきちり通っていて美しいです。

小 3 年

もの	音	
ベ	で	夜
三年	目	中
ふ	が	に
じ	さ	
原	め	大
ま	た	き
ゆ		な

七十周年記念賞

藤原 茉優

のびやかな線でなめらかに書き上げました。かん字とひらがなのバランスよく、美しくまとめています。

小 3 年

玉		
川	そ	な
三年	よ	の
中	風	花
川	が	ば
か	ふ	た
の	く	け
ん		

大津市教育委員会教育賞

中川 果音

字の形をよく考え、ゆっくりいいねいに書けました。名前のさい後の一画まで、気持ちがかもっています。

小 3 年

あ土	い	
三年	え	森
西	が	の
川	あ	中
心	りに	
な	ます	小
	す	人
		の

滋賀県知事賞

西川 心菜

すっきりとしたたいへん美しい線で書けています。マスのまん中にしっかりとおさめていてみごとです。

小 3 年

米原三年 近どうももな	に	
	小	
	犬	
	と	
	い	
	つ	
	し	
	た	
	よ	

滋賀県書道協会賞

近藤 萌々菜

力を入れすぎず、すっきりとした線とさい後まで書ききりました。

小 3 年

き生川三年 はま田大む	が	
	大	
	空	
	に	
	ま	
	光	
	の	
	わ	

滋賀県書道協会賞

濱田 大武

かるいタッチでじっくりと書き上げました。おだやかですなおな線がきれいです。

小 3 年

りつめい三年 ながたさおり	さ	
	ん	は
	ぽ	れ
	に	
	行	大
	こ	す
	う	き
		な

滋賀県書道協会賞

永田 紗緒里

しっかりマスの中心をとらえ、すっきりとした線とさい後まで美しく書ききりました。

小 3 年

たかしま三年 八田ゆきな	白	
	い	大
	雲	空
	の	の
	ゆ	か
	く	な
	え	た

滋賀県書道協会賞

八田 優紀奈

大きな動きでどうと書き上げました。のびやかな生き生きとした線と書いています。

小 4 年

綾野四年 つる山そな	白	
	い	大
	ひ	空
	こ	に
	う	一
	き	す
	雲	じ
		の

京都新聞賞

鶴山そな

終始集中力が切れることなく、じっくりと考えながら書かれた秀作だと思います。

小 4 年

古ほり四年 野す実お	ん	
	歩	早
	に	お
	行	き
	っ	し
	た	て
	よ	
		さ

七十周年記念賞

野洲 実桜

線質の美しさと字形の確かさが感じられる秀作です。

小 4 年

マキノ南四年 水口ひいらぎ	生	
	活	地
	を	球
	心	に
	が	や
	け	さ
	る	し
		い

大津市教育委員会教育賞

水口ひいらぎ

ゆっくり慎重に、途中も気を抜かず書かれた作品です。

小 4 年

マキノ東四年 福井大吉	山	
	や	深
		く
	い	な
	ね	っ
	の	て
	緑	き
		た

滋賀県教育委員会教育賞

福井 大吉

きりりと鋭い線質で最後まで正確に書けています。線も字形もとても美しい作品です。

小 4 年

マシ南 四年 みね森林実幸	緑	
	が	木
		の
	深	葉
	く	や
	な	い
	る	ね
		の

滋賀県書道協会賞

峯森実幸

文字の大小のバランスがとてもよくとれています。文字の中心も通っています。

小 4 年

速野 四年 高橋成海	に	
	じ	七
	を	色
	見	に
	上	か
	げ	が
	た	や
		く

滋賀県書道協会賞

高橋成海

最後まで慎重にお手本を観察して書けています。名前もしっかり書けています。

小 4 年

高月 四年 かたぎり かよぎんこ	ん	
	歩	早
	に	お
	行	き
		つ
	た	て
	よ	
		さ

滋賀県書道教育研究会賞

片桐渚紗

すっきりとしたタッチで美しい線質に魅力を感じました。

小 4 年

金勝 四年 中塚彩友	を	
	ポ	森
	二	の
	一	中
	と	
	歩	細
	く	い
		道

滋賀県書道教育研究会賞

中塚彩友

鉛筆を持つ手を軽くすべらせながら、最後まで丁寧に書くことができました。

小 5 年

河西 五年 上品かのこ		
	祭	古
	礼	い
	行	歴
	列	史
	の	と
	由	伝
	来	統

京都新聞賞

上品かのこ

基本的な字の大小を心得て字形を整え、キビキビとしてすっきりしています。

小 5 年

葉山 五年 立岡英恋	月	
	の	美
	船	し
	が	い
	わ	空
	た	の
	る	海
		を

七十周年記念賞

立岡英恋

スッキリとした線の引き方で美しいです。やわらかなひらがなの曲線にもこまやかなづかいがみえます。

小 5 年

蒲生西 五年 向井愛佳	航	新
	空	幹
	機	線
	で	
	移	旅
	動	の
	す	計
	る	画

滋賀県教育委員会教育賞

向井愛佳

画数の多い漢字も自信を持って書いています。形の整え方を十分にこころえているのがわかる秀作です。

小 4 年

の北 四年 中川ゆい	て	
	集	つ
	中	く
	カ	え
	ア	を
		ツ
	プ	整
		理

滋賀県書道協会賞

中川結

やや右上がりの強い字もありますが、大きく堂々と見える書きぶりに好感を感じる作品です。

小 6 年

水	は	世
口	九	界
小	十	の
六	億	人
年	人	口
	に	が
	な	四
	る	十
	が	数
	心	年
	配	後
	さ	に
	れ	

水口小 六年 岡本 苺凜

滋賀県書道協会賞

岡本 苺凜

やや筆圧が強いです。字形に気をつけてキッチリとまとめ、堂々としています。

小 6 年

金	に	鏡
勝	映	の
六	る	よ
年	逆	う
	さ	な
	富	湖
	士	面

金勝 六年 梶原 ゆめ

滋賀県書道協会賞

梶原 ゆめ

堂々と自信まんまんに大きな動きで立派にまとめられました。

小 6 年

神	ら	中	フ
照	ん	に	イ
六	で	、	ン
年	立	高	ラ
	っ	い	ン
	て	松	ド
	い	の	の
	ま	木	大
	し	が	き
	た	二	な
		本	森
		な	の

神照 六年 山岡 未空

滋賀県書道教育研究会賞

山岡 未空

適切な筆圧で軽やかに伸び伸びとした線です。ひらがなの形が特に良く書けています。

小 6 年

南	印	美
小	象	術
六	的	品
年	な	の
	画	保
	集	管

南小 六年 越智 文那

滋賀県書道教育研究会賞

越智 文那

スッキリと美しく軽い筆線で、いねいにまとめられ、落ち着きのある秀作です。

中 1 年

今 中 一 年 中川 ひなた

入梅 更衣 都草 自然

新生 夏雲 太陽 涼味

滋賀県書道協会賞

中川 ひなた

漢字の一点、一画の角度と間隔がよくそろいていねいに書きました。

中 1 年

栗 東 一 年 安富 梨佳

若竹 夏雲 太陽 涼味

麦畑 木陰 息吹 自然

滋賀県書道教育研究会賞

安富 梨佳

字形の特徴、文字の大きさを良くとらえ、白が美しく目にうつります。

中 1 年

京 都 新 聞 賞

三 宅 千 晴

つゆ晴れ。 大波こなみ。

星まつり。 金魚の群れ。

瀬田中一年 三宅千晴

京 都 新 聞 賞

三宅 千晴

のびやかな線質とリズム感が心地よく響き書きぶりは。

中 1 年

大 津 市 教 育 委 員 会 教 育 長 賞

谷 口 ひ よ り

栗 東 一 年 谷 口 ひ よ り

大きな夢 自立の精神

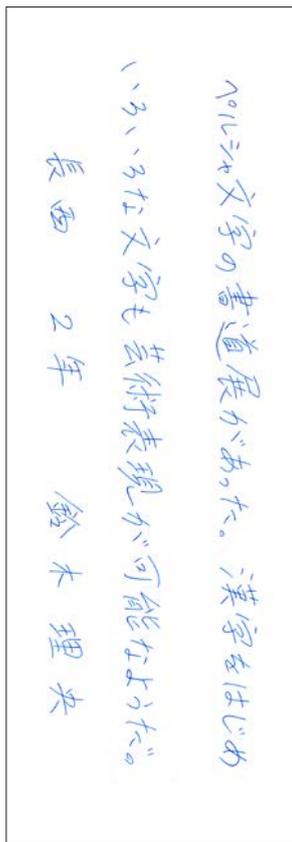
強い信念 豊かな知識

大津市教育委員会教育長賞

谷口 ひより

漢字、ひらがなの字形が整い、終始一貫した秀作です。

中 2 年

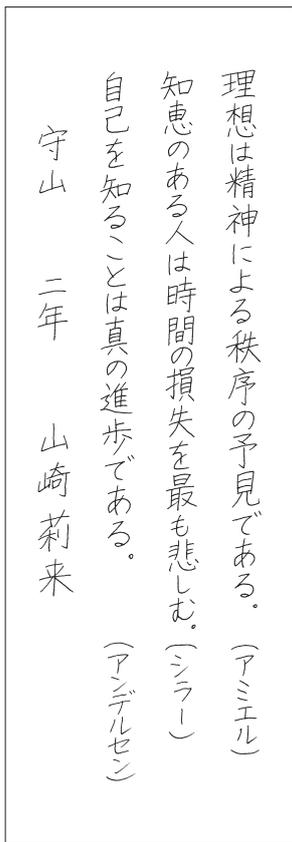


滋賀県書教育研究会会長賞

鈴木理央

ゆったりした横書き作品、軽いタッチと大きな動きが素晴らしいです。

中 2 年

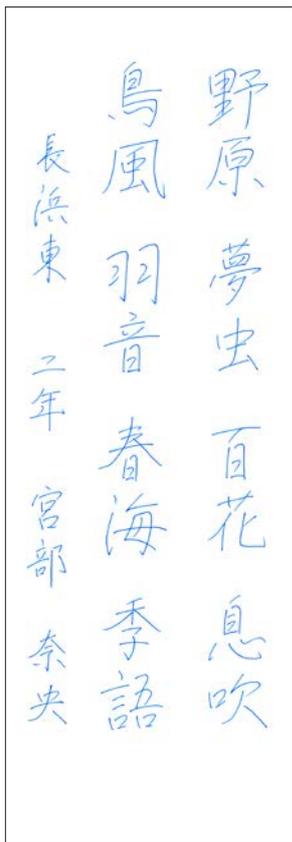


京都新聞賞

山崎莉来

きっちりとしていねいに書かれた楷書作品、最初から最後まで書き切った統一感に拍手をおくります。

中 2 年

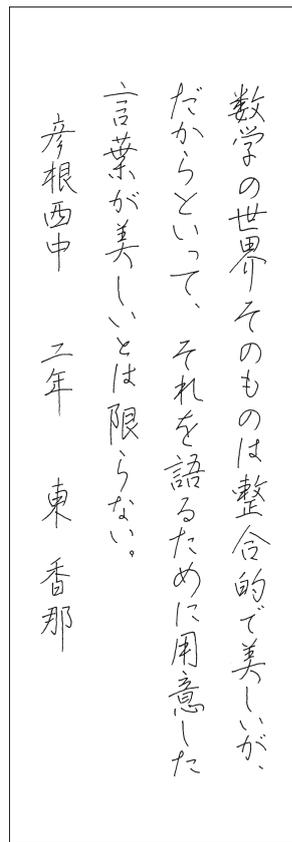


七十周年記念賞

宮部奈央

軽やかなタッチと流麗な行書は、大きさを感じさせます。

中 2 年



滋賀県教育委員会教育長賞

東 香那

難しい行書体をゆったりと大きな動きで書けました。

中 3 年

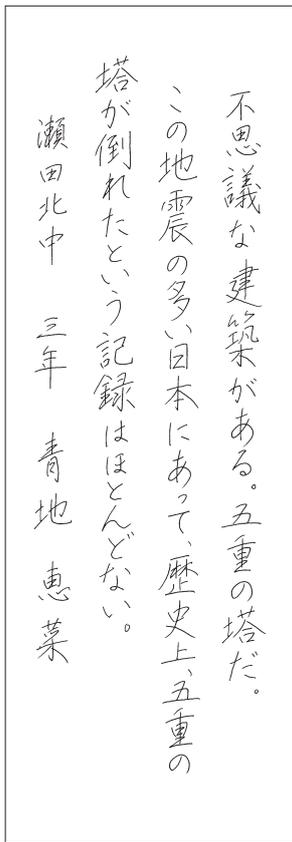


滋賀県書道協会賞

平木 沙菜

行書体のすっきりした線で二文字のリズムが「トン、トン」と響いてきます。

中 3 年

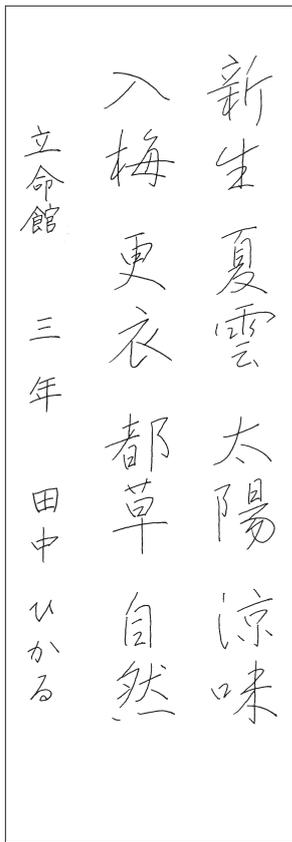


京都新聞賞

青地 恵菜

気脈がよく通り、すっきり、澄みきった線質がとても美しい作品です。

中 3 年

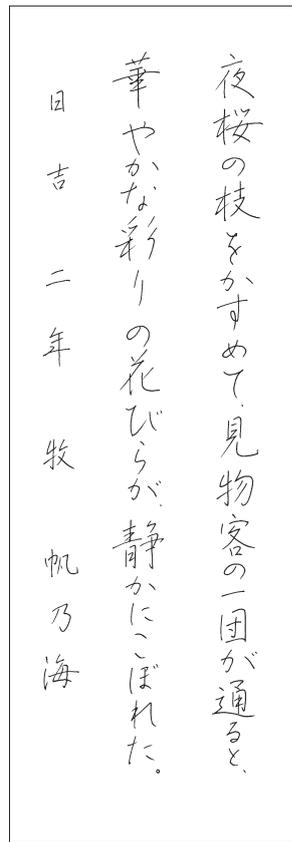


滋賀県知事賞

田中 ひかる

自然な流れの行書体で最後の校名、名前までいねいに書けました。

中 2 年



滋賀県書道協会賞

牧 帆乃海

やさしい感じの行書作品、気脈の一貫性と余裕ある書き振りが素敵です。

月日は百代の過客にして行きかふ年も又旅人なり。
人の一生は重荷を負うて遠き道を行くが如し。
国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。

彦根東高一年 多田理那子

京 都 新 聞 賞

多 田 理 那 子

よく練習を積んだ線が書かれていて、無駄なく、切れ味のある線は作品をよく引き締めている。

まだあけ初めし前髪の
林檎のほとに見えしは
前にさしたる花柳の
花ある君と思ひけり

やさしく白き手をのべて
林檎をわれにあたへしは
薄紅の秋の寒に
人こゝ初めはじのなり

わがこころなまためいさ
その髪の色にかかるとき
たのしみ恋の盃を
君が情に酌みしかば

林檎畑の樹の下に
おのづからなる細道は
誰が踏みそのれかたみぞと
問ひたまふこぞ
こゝしけれ

「初恋」 島崎 藤村
伊吹高校1年 清水 まり

七 十 周 年 記 念 賞

坂 口 遥

作品の上部をそろえることで作品の下部の行の終りの変化が楽しくなった。軽快でリズムカルな作品となった。

今まで味わったことのないような心地よに緊張感に包まれながら
歌っていた。自分の歌声が聞こえる。私の曲が演奏されている。楽器もす
べてがリズムを刻んでいる。スタッフたちが微笑んで聴いている。この穏や
かな空気を通して、ココを震わせているのは何だろうか。すべてが一体に
なるとき、この曲に命が吹き込まれたんだと確信した。そして何より自
分が生きているんだと気づいたのだ。生きている喜びを初めて実感できた

大津市教育委員会教育長賞
大津 高 一 年 溝 口 紗 月

大津市教育委員会教育長賞

清 水 き ら り

詩の内容をよく吟味し、作品の構成にいかしている。また、横書きの書きぶりも好ましい。

ゆったりとしたリズムで書かれていて、心地よい。漢字とかなのバランスも良く、読みやすく、無駄がない。

滋 賀 県 教 育 委 員 会 教 育 長 賞

溝 口 紗 月

名匠小津安二郎の映画『晩春』に見られる父と娘の物語。父ひとりを残して
結婚に踏み出せない娘(原節子)を婚期を心配する父(笠智衆)は寂し
さをこらえて嫁がせようとする。やがて嫁ぐ日が決まって、最後の夜をともに過
す父娘の場面は見事に抑制された余計な台詞はない。モクワロムの映像に、かにも
日本人的な郷愁と親子の情感が満ちあふれている。草津高一年 上坂葉月

滋 賀 県 書 道 協 会 賞

上 坂 葉 月

青いインクで書かれていて、やわらかで落ちつきのある作品で好ましい。

批半「ばかりされた子どもは
非難することをおぼえる
殴られて大きな子どもは
力にたよることをおぼえる
突いものにされた子どもは
ものを言わずにいることをおぼえる
皮肉にされた子どもは
鈍い心のちねしとなる
しかし激励をうけた子どもは
自信をおぼえる
寛容なであった子どもは
忍耐をおぼえる
賞讃をうけた子どもは
評価することをおぼえる
フェアリーを経験した子どもは
公正をおぼえる
友情を知る子どもは
親切をおぼえる
安心を経験した子どもは
信頼をおぼえる
可愛がられ抱きめられた
子どもは世界中の愛情を
感じることをおぼえる

米原高年 阿武 濤奈

滋 賀 県 書 道 研 究 会 長 賞

阿 武 濤 奈

全体をよく統一して、最後までよく書ききっている。詩の内容もよく理解していることが伺える良い作品です。

梅雨 前線 金銀 言語
夏季 木陰 時鳥 雲海
虎 姫 一年 前川 蓮

滋 賀 県 書 道 研 究 会 長 賞

前 川 蓮

行書のやわらかな線が魅力です。細部まで心配りが行き届いています。

誰もがあこがれる書きぶりだと思
います。文字の大きさ、線質どれも
よく書けています。

滋 賀 県 書 道 研 究 会 長 賞

秋 山 真 衣

山羊群れて水溜あり夏野かな 虚子
 梅干すや庭にしたたる紫蘇の汁子規
 雷鳥もわれも吹き来し霧の中 秋桜子
 大津高 一年 上原 紗 菜

滋賀県書道協会賞

上原 紗 菜

筆圧が良く揃い、俳句の情感を感じさせてくれる作品になりました。

現代生活の基調をなすものに合理主義があげられます。食べものにおいてもしかりです。単に食べるのではなく、積極的に健康を獲得するためにも、合理的な食生活というものを心得ておかねばなりません。それには栄養上のバランスのとれた食品を摂取することはいまでもありませんが、同時に、いかにしてその栄養を調理などによって破壊・破壊することなく摂取するかという点も充分に知っておくべきです。行きあたりばったりの食生活は栄養のバランスをずらしやすく、従って合理的な栄養摂取にそぐわないことになるので、充分注意したいものです。 立命館守山高校一年 青木 遼

滋賀県書道協会賞

青木 遼

文字のバランスも良く、紙面の配字も行間の白もきれいに整っています。

君は来るだろうか明日のクラス会に半分は折り曲げた案内をもつ一度見る つきあってた頃僕ら手をつなぎながら歩いた並木道たくさんの方がゆくよ ああいつも僕が待たせた駄て待つはず無い君を捜すけどこの声が枯れるくらいに君に好きと言えよよかった会いたくて仕方なかったどこにいても何をしても 彦根総合高校 一年 清水 柗輝

滋賀県書道協会賞

清水 柗輝

整った楷書体で名前まで一貫し、落ちついた書きぶりに好感を抱かします。

人類は小さな地球の上で眠り起きそして働きときどき火星へ 仲間を欲しがったりする 火星人は小さな地球の上で何をしているか僕は知らない(或はネリレ、れいれい、ハラレているか) けれどときどき地球へ 仲間を欲しがったりする それはまたくたしかなことだ
 万有引力とは ひき合う孤独の力である 宇宙はひき合っている それ故みんなは求め合う 宇宙はどんどん膨らんでゆく それ故みんなは不安である 二十億光年の孤独に 僕は思わずくしみよめた 谷川俊太郎の詩 伊吹高校1年 近藤 理央菜

滋賀県書道協会賞

近藤 理央菜

横書きのリズムが終始一貫して書かれ、紙面の構成が工夫されています。

降る雨に若葉の緑も一層色を深め 朝顔のつるも日毎に伸びています。 街はもう夏の袂衣になつてまいりました。 膳所高校 二年 上田 花

大津市市長賞

上田 花

行書の点画の書き方をよく会得して穏やかなリズムで全体を一貫させて書ききっています。

名匠小津安二郎の映画「晩春」に見られる父と娘の物語、父ひとりを残して結婚に踏み出せない娘(原節子)を婚期を心配する父(笠智衆)は寂しさを感じて嫁がせようとする。やがて嫁が月が決まって最後の夜をともに過ごす父娘の場面は見事に抑制され余計な台詞はない。モノクロムの映像にいかにも日本人の郷愁と親子の情感が満ちあふれている。草津高一年 田中 圭

滋賀県書道協会賞

田中 圭

よく最後まで調子を変えずに書いています。無理なく自然な書きぶりは、筆者の力量を感じさせています。

人生とは運命がなみなみとつがれている盃である。 深い美を見ている画家は自分を未熟だと思っている。 希望は人生を成功へみちびく信仰である。 長浜北高一年 茂森 愛未

滋賀県書道協会賞

茂森 愛未

文字の流れや、線質が良く調和し、自然でおだやかな作品となった。全体の構成も良い。

作品を書くということは、ただ筆をもって書けるものではなく、ありません。何か感動をあるものから受けて、その影郷音で自分の心が動きだし書きたいと思う幻影が頭の中に作りだされます。出来上がった書の姿がはっきりとした形ではないまでも見えてくるわけです。つまり...東大津高一年 連 朋佳

滋賀県書道協会賞

連 朋佳

それぞれの文字の特徴をいかして、落ちついた書きぶりが好ましい。また、最後まで一貫して書けている。

客心驚落木 夜坐聴秋風

家郷遠く来た人が葉の落ちつゝ枯木を仰いで敬馬を
愛す。そうして夜は旅宿に坐して風の声の渡るのを聴く。

新 海 伊 藤 愛

般

春の歩みのリズムに
地に飛舞う鳥の羽
春の呼吸の息を
空に蹴踢し馬歌う
清々風を河原
涼し月照る風下
空に月照る風下
地に響きわたる
一光雲も時を
秋の夕色上げた
秋は紅葉の赤に
山嶺は
赤染つた秋の音
冬はあつたあつた
冬はあつたあつた
雪の積に梅が
梅のつぼみに雪が
今井光子

般

「カーリングの町」北海道北見市を拠点にした競技漬けの毎日が
結果し、日本勢初のメダルに手が届いた。LS北見が、平昌の氷上で
3位決定戦を制して金字塔を打ち立てた。互いの努力を認め合
い、個性に引かれてソビョフ着いた五輪。前回ソチ五輪銅メダルの
英国を退け、堂々表舞台に立た、女土 西山 和代

般

どこか知らない 遠いところで
だれかが泣いている 声がかきこえる
泣かないでくじけないで
ほくがここにいるよ
勇気の花がひらくとき
ほくが空をとんでいから
きっと君を助けるから

風がうすま 深い谷間で
ほくを呼んでいる 声がかきこえる
おそれるな がんばるんだ
夜はすぐにあける
勇気の花がひらくとき
ほくが空をとんでいから
きっと君を助けるから

赤く乾いた 砂漠の中で
助けを呼んでいる 声がかきこえる
たちあがれ 元気をたせ
オアシスはちかいか
勇気の花がひらくとき
ほくが空をとんでいから
きっと君を助けるから

亀岡 岡田 恵

軽いペンのタッチで一貫して書き切って見事です。平仮名の字形も楷書に合った書きぶり安定しています。

文字の大小関係に留意しながら楷書の結構をよく身につけ書き切った見事です。仮名と漢字もよく調和して良。

行の通りが美しく、しっかりとした書きぶりが印象的な作品です。一貫性があり歯切れの良いリズムで書けて良。

美しい線で楷書と行書を見事に書き分け、作者の力量の高さを大いに発揮した秀作。難しい楷書の結構も見事。

一

般

一

一

一